

ROSE



Communication

わが茨城

No.

118

通巻 118 号

2022 年（令和 4 年）

11 月 18 日発行



花貫溪谷（高萩市）

CONTENTS

会長あいさつ —1
名誉会長あいさつ —2
県人会活動報告 —3
市町村情報 —7

いばらきトピックス —8
茨城再発見 —11
いばらきの先人たち —13
いばらきセレクション —14

いばらき農産物ブランド確立へ —15
いばらきのいち押しグルメ —16
インフォメーション —17

会長あいさつ

茨城県人会連合会会長

鈴木正誠

会員の皆様ならびにご支援をいただく関係者の皆様には、職場・地域における県人会活動や同窓会活動を通じて、当連合会及び郷土茨城の発展のためにご尽力をいただき、心からお礼申し上げます。

おかげさまで当連合会は、会員の皆様をはじめ関係者のご理解とご協力により、昭和四十三年の設立から今年で五十四年目を迎え、会員数は個人・法人合わせて三百二十余名となりました。この間、茨城を故郷とする方々、茨城にゆかりを持たれる方々が集い、親睦を深め、郷土振興のための情報交換の場として活動してまいりました。

この両三年コロナ感染の大波に次々と襲われ、どなたも大変ご苦労されました。県人会連合会恒例の多くの活動が中止を余儀なくされましたが、久方ぶりに本年七月には感染症対策に配慮しつつも会員・来賓四百



名が一堂に会する懇親会を開催できました。多くの市町村にも参加いただき、盛り上げていただきました。

今後とも行事の実施に当たっては、慎重な状況判断と対策をとることといたしますが、状況が好転しのびのびと活動できる平常に戻れることを切に願っております。

さて、私たちの故郷茨城県では、大井川知事のリーダーシップのもと社会の変化を先取りし、新しい茨城づくりに挑まれておられます。「第二次茨城県総合計画」によって、産業、福祉、教育と広範にわたる対策を実施し、茨城県民の幸福度ナンバーワンを目指すという力強く表明をされました。

最近、茨城県に関する話題がテレビ、新聞に頻繁に登場し、いろいろな分野の方々が努力された様子が、ポジティブな結果とともに紹介されています。県民の皆さんの活力が県の主導に應える動きだと大いに感動しております。

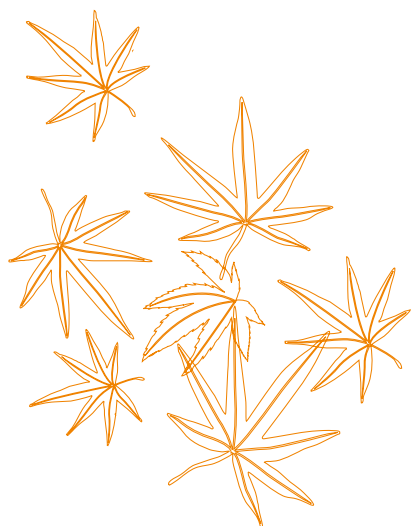
さらに、茨城ブランド向上の動きを加速するものがあります。偕楽園の開園百八十年、アクアワールド大洗水族館開園二十周年、笠間焼誕生二百五十年など節目にあたり、装いを新たに訴求力を強化しています。来年には「G7内務・安全担当大臣会合」が水戸市で開かれます。

県人会連合会の会員の多くの皆様は故郷の応援団員を任じておられますが、応援するチームが強くなれば一層応援力が入るはずで、また元気な茨城にふさわしい県人会連合会となるためにも、茨城県にゆかりのある方々、特に中堅・若手・女性の入会を勧めてま

います。今年度には、若手会員による交流会を初めて実施したいと考えております。若手ならではのビジネス情報の交換や、人脈の形成の場として活用できることを目指します。また、先の年次総会で四名の女性理事就任が決まりました。皆様の活躍での新しい風を期待しております。

私も元氣な茨城県人を見習い、貧者の一灯でもこの思いでシニアの皆さまのデジタル化のお手伝いを始めました。半世紀ぶりに故郷の方々とお会いし、子供のころに聞きなれたお国訛りが大分聞かれなくなりました。時の経過を感じております。これも、県人会のご縁での大変ありがたい体験であります。

改めて、当会の発展には、会員の皆様そして会を支援てくださる関係者の皆様のご協力をいただかなければなりません。会の行事にはできるだけ参加していただき、さらには、新入会員のご紹介、会の運営へのご意見などをお寄せいただければ幸いです。そして何よりもご健勝に過ごされ長く当会にお付き合いくださるようお願い申し上げます。



名誉会長あいさつ 茨城県知事

大井川 和彦

茨城県人会連合会の皆さま方には、郷土茨城の発展のため、日頃から多大なご支援を賜り、心より感謝申し上げます。

はじめに、新型コロナウイルス感染症により、亡くなられた方々のご冥福を謹んでお祈り申し上げますとともに、罹患された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

本県といたしましても、ウイルスの特性と感染状況を常に分析しながら、先手先手で必要な対策を講じ、今後とも、県民の皆様への命と健康、そして暮らしを守ることを最優先に、感染拡大防止と社会経済活動の本格化に向け、全力で取り組んでまいります。

さて、時代は今、コロナ禍の影響により人々の価値観や生活様式などが大きく変化していることに加え、少子高齢化や気候変動問題、AIの進歩など、これまでとは全く状況が異なる、予測困難な「非連続の時代」を迎えています。

この困難な時代を乗り越えるため、私たちには、前例踏襲や横並びではなく、自ら考え、仮説を立て、変化や失敗を恐れず、新しいことに果敢に挑戦し、未来を切り拓いていくことが求められております。



こうした中、県といたしましては、今年三月に策定した新たな県総合計画に基づき、「活力」があり、県民が日本一幸せな県の実現に向け、「豊かさ」「安心安全」「人財育成」「夢・希望」の四つのチャレンジを常に進化・加速させてまいります。

これら四つのチャレンジの具体的な成果として、まず、「豊かさ」の実現に向けて、企業誘致においては、県外企業立地件数が五年連続全国一位となったほか、全国トップの補助制度等により、昨年の首都圏から本県への本社機能移転企業数は、大阪に次ぐ全国第二位となっております。

また、本県農産物の輸出拡大を図るため、かんしよや米、常陸牛を主力に東南アジアや北米を主なターゲットと位置づけ、現地量販店等でのプロモーションや私自ら海外で直接セールスを行うなど、戦略的に販路拡大に取り組み、農産物の輸出額は私の就任前の約八倍となりました。

次に、「安心安全」については、医師確保では最優先の医療機関・診療科を選定して重点対策に取り組み、医師少数県であるにもかかわらず、過去最大の感染拡大に直面した第七波を含め、一度も医療崩壊することなく、必要な医療をしっかりと確保しております。

本県の未来を担う「人財育成」では、全国トップとなる公立の中高一貫教育校十三校を設置するとともに、来年四月には、公立校では全国初となるIT専科高校や大学・研究機関等と連携したサイエンス専科高校を開校するなど、子どもたちが自ら考え、行動し、未来を切り拓く力の育成に取り組みしております。

また、「夢・希望」については、魅力ある茨城づくりに向け、戦略的なプロモーションに取り組んだ結果、本県のメディア露出による広告換算額は、私の就任前の三倍以上に拡大し、また、昨年四月にリニューアルした県フラワーパークでは、

昨年度、コロナ禍前を上回る二十万人超の皆様にご来園いただきました。

県内への移住に付きましても、コロナ禍における地方移住への関心の高まりなどを背景に、転入者の対前年増加数が全国第一位、転入超過率も全国第六位となっております。

さらに、観光需要の創出として、来年秋に実施する「茨城デビュー」キャンペーンに先立ち、本年十月より十二月末までプレキャンパンを実施しております。プレキャンパンでは、「体験王国いばらき」のキャッチコピーのもと、「アウトドア」「食」「新たな旅のスタイル」をテーマとして、百を超える体験型コンテンツを提供するとともに、サイクルトレインや地酒列車といった特別列車も多数運行しているところから、全国旅行支援の実施時期とも重なっておりますことから、皆様もぜひ、この機会に本県にお越しいただくとともに、身近な方にも本県への来訪を促していただけますと幸いです。

国際観光につきましても、十月から査証免除措置の適用再開や個人旅行の解禁など、水際対策が大幅に緩和されたことにより、今後、本県を訪れる外国人観光客の増加が見込まれるところであり、この機を逃さず誘客を図れるよう、旅行会社やインフルエンサーの招請、SNSやメディアを活用したデジタルマーケティング等の誘客プロモーションを強化し、インバウンド需要をしっかりと取り込んでまいります。

また、二〇二三年主要国首脳会議（G7広島サミット）に合わせて開かれる内務・安全担当大臣会合について、水戸市で開催されることが、本年九月に決定いたしました。

国際情勢が緊迫化する中、テロ対策などが重要なテーマとなる会合が県内で開催されることは、大変意義深く、会合の開催を支援するとともに、各国閣僚等への心のこもったおもてなしの提供や、茨城の様々な魅力の発信により、地域活性化につなげられるよう、全力で取り組んでまいります。

今後とも、本県の潜在能力を発揮し、皆様方が誇りに思える郷土茨城の更なる発展を目指してまいりますので、なお一層のご支援、ご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

結びに、会員の皆様のご健康とご活躍をお祈りいたします。挨拶といたします。



令和四年度
茨城県人会連合会
定期総会・懇親会

首

都圏で活躍する本県出身者らを中心に組織している茨城県人会連合会（鈴木正誠会長）は七月二十五日、東京都港区のThe Okura Tokyoで令和四年度の総会と懇親会を開いた。各界の本県出身者や県選出国會議員、市町村長ら約四百人が出席し、さらなる本県の発展を誓い合った。



鈴木会長

懇親会の冒頭、鈴木正誠会長は「総会で女性の新任理事四名が誕生した。当会では画期的なこと。新しい風を巻き起こしてほしい」と期待を込めた。また、最大の関心事である県政について、「大井川知事は第二次総合計画を策定され、つくばエクスプレスの延伸、県産品の輸出拡大、T S M C 誘致などのプロジェクトが動き出している。新しい茨城の姿を目



市の魅力を紹介する
ひたちなか市親善大使

標に、県民の幸福度ナンバーワンを目指して成果を取めてほしい。県人会会員の皆さまが茨城の自然、産物、イベントに関わりを深め、広めていくことが支援に繋がっていく」とあいさつした。

同会名誉会長の大井川和彦知事は、「今、茨城県は全国で最も元気のいい県の一つ。様々な要素から偏差値化してみると、（本県独自の指標に基づく）幸福度は九位で、就業者数一人当たりの付加価値額は全国三位。茨城県が全国の先

頭に立ち、変化の時代を乗り越えていきたい。県人会の皆さまに茨城県をしっかりと応援してほしい」と協力を呼び掛けた。

伊沢勝徳県議会議長の発声で乾杯後、来場者らは三年ぶりに親交を深めた。会場には各自治体や団体による三十五のブースが設けられ、観光名所や特産品を紹介した。



大井川知事



各自治体などが特産品などを紹介

茨城県へのふるさと納税（いばらき応援寄附金）のご案内

茨城県では、皆様からの「ふるさと納税（寄附金）」を募集しております。皆様からの寄附金は、子どもたちの教育環境の充実や農林水産物のブランド化、災害ボランティア活動の支援、犬猫殺処分ゼロを維持する取組など様々な施策に役立っています。1万円以上の寄附をいただいた県外在住の方を対象に、茨城の魅力あふれるお礼の品を取り揃えています。

お申し込みは…

茨城県 ふるさと納税

検索

ふるさと納税サイト「ふるさとチョイス」内の茨城県のページが便利です。クレジットカードやスマホ決済などキャッシュレスでのお支払いが可能です。
<https://www.furusato-tax.jp/city/product/08000>



お礼の品 1万円以上の寄附をいただいた県外在住の方が対象です（※写真はイメージです）

高島屋選定の県産品

百貨店の高島屋とのコラボレーション企画！
魅力たっぷりの「いばらき」をぜひご堪能ください！



常陸牛



ほしいも



笠間焼

寄附金の使いみち（応援メニュー）の一例



子どもたちの教育環境の充実



災害ボランティア活動の支援

問い合わせ窓口 | 茨城県総務部税務課 電話029(301)2418

ふるさと納税特設サイト <https://kifu.pref.ibaraki.jp/>

茨城空港から全国各地へ スカイマークでしゅっ飛び!

茨城から全国4都市へ
1日7往復全14便!

2022年冬ダイヤ
航空券発売中!

Flight Schedule
[2022.10.30 ~ 2023.3.25]



茨城⇄札幌	便名	茨城→札幌(新千歳)
	SKY 791	09:40 → 11:00
	SKY 795	17:40 → 19:05
	便名	札幌(新千歳)→茨城
SKY 790	09:00 → 10:30	
	SKY 794	17:30 → 19:00

茨城⇄神戸	便名	茨城→神戸
	SKY 183	08:35 → 09:55
	SKY 185	15:35 → 16:55
	SKY 187	19:40 → 21:00
便名	神戸→茨城	
SKY 182	07:55 → 09:05	
SKY 184	13:50 → 15:00	
SKY 186	19:25 → 20:30	

茨城⇄福岡	便名	茨城→福岡
	SKY 831	07:35 → 9:40
便名	福岡→茨城	
SKY 836	18:35 → 20:05	

茨城⇄那覇	便名	茨城→那覇
	SKY 531	11:10 → 14:25
便名	那覇→茨城	
SKY 532	14:30 → 17:00	

茨城⇄宮古(下地島)	便名	茨城→神戸
	SKY 183	08:35 → 09:55
	便名	神戸→宮古(下地島)
	SKY 163	10:40 → 13:20
便名	宮古(下地島)→那覇	
SKY 542	12:45 → 13:30	
便名	那覇→茨城	
SKY 532	14:30 → 17:00	

札幌(新千歳) 6,500円~ 福岡 7,700円~

神戸 6,500円~ 那覇 6,500円~

宮古(下地島) 16,000円~

運賃額は、ご搭乗の3日前までご予約可能な「いま得」に設定されています(1区間片道税込)。運賃に加えて、旅客施設使用料が必要となります。航空運賃とあわせてお支払いいただけます。(2022年10月現在)

IBR MY AIRPORT CLUB

**IBRマイエアポートクラス
公式アプリ!**

もっとお得に!

協賛店舗の割引サービス!
空港利用で貯まるポイントで
茨城県特産品や
空港グッズと交換!

もっと身近に!

お得なキャンペーンや
イベント等最新情報を
いち早くお届け!

もっと便利に!

フライト情報や空港内施設を
簡単確認!

IBR 茨 びより
茨城県公認 Vtuber

*アプリ画像はイメージです。実際とは異なる場合がございます。

今すぐダウンロード

IBRマイエアポートクラブアプリ 検索

茨城空港
IBARAKI AIRPORT

創業100年を超える日立市城南町の総合建設業・鈴縫工業は、茨城県内の建築土木工事のほか、東京支店を拠点に首都圏の事業も手掛けてきました。代表取締役社長の鈴木達二さん(48)＝日立市出身＝に同社の歴史や仕事に込める思いなどをお聞きしました。

一御社の事業内容を教えてください。

1918年の創業以来、総合建設業として民間・公共の建築工事や土木工事、不動産売買仲介などを幅広く展開しています。

茨城県内を中心に、公共施設や工場、物流拠点、医療・福祉施設、マンションなどの建築工事、道路や橋梁、港湾、上下水道などの公共土木工事を数多く手掛けてきました。

一1962年には東京営業所(現東京支店)を開設し、首都圏でも様々な工事を行ってきました。

当時は高度経済成長の真っただ中で、東京オリンピックを控えた建設需要の高まりが東京進出を後押ししたようです。先人の苦勞と努力が、現在に至る営業基盤を確立してくれました。

特に支店がある渋谷区では、学校や公共施設の建設に長年携わってきました。現在リニューアル中の渋谷区ふれあい植物センターは、建設から今回の改修工事まで任せていただいております。今後も「東京は第二の地元」として、首都圏の営業を強化していきたいです。



1964年 首都高速道路1号羽田線工事

一地域貢献活動をご紹介します。

当社を育てていただいた地元茨城の皆様への恩返しのお気持ちから、様々な活動を行っています。創業100周年記念事業として2018年に始まった「おひさまの恵みプロジェクト」では、太陽光発電事業の収益から、毎年総額500万円を青少年育成

に取り組む県内団体などに助成しています。これまで延べ80団体にご活用いただきました。

一茨城県建設業協会の青年部の役割を持つ「建設未来協議会」の会長もされています。建設業界の現状についてお聞かせください。

少子高齢化による労働人口の減少や地方経済の衰退による担い手不足が長年の課題です。現在、働き方改革やデジタル技術の活用、業界のPR強化に取り組んでいます。

近年は、建設業界にもDX(デジタルトランスフォーメーション)の波が押し寄せています。当社では、ICT(情報通信技術)を活用し、業務の効率化や建設現場のデジタル化を図っています。

また、当社や建設業へ興味を持ってもらおうと、SNS(交流サイト)も積極的に活用しています。動画投稿サイト「ユーチューブ」では、工事現場などの動画を配信しています。



「SUZUNUI チャンネル」の一場面

一建設業の役割について、どのようにお考えですか。

地元建設業は「地域の守り手」としての役割を担っています。皆さんが普段快適に使っている道路などの社会インフラは、私たちが支えています。災害時にはいち早く現場に駆け付け、救助活動のための通路の確保や、被害を最小限に抑えるための応急復旧工事を行います。復興にも建設業が欠かせません。

当社もその一員として、また地域経済を支えるビジネスパートナーとして、これからも「真面目に、事業に取り組んでまいります。



〔各種SNS〕



Instagram



Twitter



YouTube

Interview

フジテレビアナウンサーの今湊敬樹さん(26)＝笠間市出身＝に仕事内容や意気込み、茨城への思いについてお聞きしました。

一現在の仕事内容は。

月曜と火曜の2日間、深夜帯の報道番組「Live News α」に出演し、ニュース&スポーツキャスターを務めています。ニュース原稿を読んだり、経済ネタを中心に取材もします。また野球やフィギュアスケート、競馬、陸上、バレーボール、大相撲トーナメントなどのスポーツ実況も担当しています。



ック取材をしました。直前に取材した選手の情報や、無観客の中で現場の雰囲気も、自らの言葉で伝えました。フィギュアスケートやノルディックスキー複合、ショートトラック、スキークロスの会場に足を運び、スキージャンプでは葛西紀明さんと一緒に仕事をさせていただき、大変実りのある時間を過ごしました。今は、いつか五輪で実況することがキャリアの大きな目標になっています。

一なぜアナウンサーを目指したのでしょうか。

子どもの頃から、相撲や水泳、陸上、野球、バレーボールをやってきました。ちなみに小学3年生の時は、水戸市出身で同級生の大相撲・武将山関(十両)とも稽古しました。スポーツの仕事に憧れていて、いつかスポーツに関連したことを仕事にできるのは楽しいなと漠然と思っていました。そんな中、2004年アテネ五輪の体操男子団体総合で名実況「栄光への架け橋だ」を生中継で見ました。スポーツの一瞬の素晴らしい景色と共に自分の言葉が残る、アナウンサーという仕事に憧れを抱いた瞬間です。名場面をサポートできる存在になりたいと思いました。

一茨城でも仕事をしたことがある。

入社した2018年、牛久市出身の横綱・稀勢の里関(当時)の取材で“茨城凱旋”を果たしました。牛久駅前街頭インタビューして期待の声を聞き、稀勢の里関が好んでいたウナギ屋に行き、実際に試食して、その味をレポートしました。大相撲トーナメントでは、二所ノ関親方となった元稀勢の里関を解説に迎え、いつか茨城コンビでの実況&解説が実現できれば幸せですね。

一これまで印象に残った仕事は。

今年開催された北京冬季五輪で、初めてオリンピ

一今も笠間市が気になるそうですね。

笠間市の公式ツイッターをフォローし、常に地元の情報はチェックしています。スケートボードパークができた公園で昔よく遊んでいましたね。東京から近いので年末年始やゴルフでよく帰省します。

株式会社フジテレビジョン

アナウンサー 今湊敬樹



新入会員紹介

令和3年12月1日～令和4年9月30日までの入会者 (入会日順・敬称略)

【個人会員】

黒羽 政明	斎藤全一郎	梅村 久子
今湊 敬樹	斎藤 典子	沢井小次郎
田村 敬	大澤 貫寿	田塚 康弘
秋田 進	柴崎 敦子	堂込麻紀子
渡邊 加奈子	榎谷 美奈	加藤 明良
麦島 健志	笹島 誉行	助川 和浩
長 有紀枝	飯塚 哲哉	
綿引 一	志賀 貢	

【法人会員】

(株)マリモ
(医)翔友会

新役員紹介

令和4年度総会にて役員改選 (五十音順・敬称略)

【副会長】

諸星 衛

【常任理事】

秋田 進
飯塚 哲哉
飯村 一樹
蛭原 久男
黒羽 政明
笹島 誉行
柴崎 敦子
柴田 富士子

【最高参与】

板谷 駿一

須田 久美子
田村 敬
蓮田 裕直
保原 幸弘
綿引 伸一
綿引 一

ひたちちぐらしのススメ (日立市移住促進事業)

日立市は、太平洋に面し、6つの海水浴場や阿武隈山地に連なる山々を有する自然環境豊かなまちです。日立の名は、水戸黄門として知られる水戸藩2代藩主である徳川光圀公が、「日の立ち昇るところ領内」と称えたという故事に由来すると言われ、日の出の美しさはもちろん、日本の「さくら名所100選」の一つである「かみね公園・平和通り」の桜をはじめ、水質の良い美しい海、日本夜景遺産に認定された「かみね公園からの夜景」など多彩な風景に出会うことができます。県内唯一の動物園である「かみね動物園」や令和3年にリニューアルオープンした日立シビックセンター科学館「サクリエ」などのレジャースポットもたくさんあるほか、支援制度も充実しており、子育てに魅力的な環境が整ったまちです。

「海の見える家」 「海の見える家」

令和4年1月から開始した「ひたちトリアルステイ」は、「海の見える家」。日立市では、コロナ禍によるテレワークなど新しい働き方の定着、地方移住ニーズの高まりといった機会を捉え、お試し住宅「海の見える家」を使用した「お試し移住」事業を実施しています。

「海の見える家」は、築35年の一軒家をリノベーションしたもので、2階には太平洋が一望できるワンフロア空間があり、日立市でのリアルな暮らしを体感していただくことができます。貸出料は無料。生活に必要な家電や家具も揃っています。対象は、日立市への移住を希望または検討している市外在住の方で、3泊4日〜7泊8日の期間でリモートワークをしたり、家族団らんを楽しんだり、

ライフスタイルに合わせた様々な使い方ができます。

これまでに、東京都や神奈川県などの首都圏を中心に16組の方に利用いただいております。「日立市は自然環境豊かで、大変暮らしやすい印象を受けた。今後、移住先の候補として検討したい。」や「現在は東京在住であるが、地元・日立市の魅力を改めて再確認できた。」など大変好評をいただいております。

こちらのQRコードから
トリアルステイ体験者の
感想をご覧ください



1



2

1 ひたちトリアルステイ「海の見える家」2階の窓からの景色
2 リノベーションした2階。海を近くに感じながら生活できる

今年度は、今後、第5期（来年3月中旬〜4月上旬）のトリアルステイ募集を行う予定です。第5期の募集は、来年の2月中旬頃から市HPで行う予定です。日立市への移住を検討している方がお近くにいる方や、ぜひお知らせください。

ひたち風HP



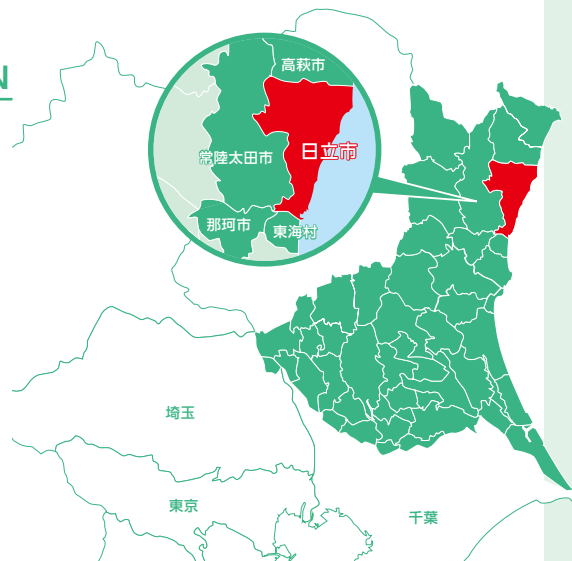
INFORMATION

日立市へのアクセス

【鉄道】JR常磐線
〈特急〉上野駅→日立駅（90分）
【高速道路】常磐自動車道
三郷IC→日立中央IC（80分）

日立市役所連絡先

日立市市長公室広報戦略課
〒317-8601 茨城県日立市助川町1-1-1
TEL.0294-22-3111(代表番号)





そば焼酎「土浦小町」

～常陸秋そばの芳醇な薫りを焼酎にして～



焼酎の名前の由来となった土浦市小野地区は、小町が越えたとされる峠道や腰をおろして休憩したとされる腰掛石、小町の墓と伝えられる五輪塔など、小町伝説が残る地域で、その周辺は、茨城県が全国に誇るブランド品種「常陸秋そば」の優良な産地として知られております。その地域で栽培された自慢のそばは、実の大きさや粒ぞろい等の品質が良く、風味や甘みに優れており、全国のそば職人やそば通の方々から高い評価を受けております。そば焼酎「土浦小町」は、土浦市産のブランド品種「常陸秋そば」を原料とし、すっきりとした飲み口で、そば独特の芳醇な香りを楽しめる焼酎として、例年11月初旬から数量限定で販売しております。ロックやお湯割りの他、そばの香りを一段と引き立たせる「そば湯割り」等、様々な楽しみ方がある「土浦小町」。同じ時期に味わえる常陸秋そばの「新そば」とともに、そば焼酎「土浦小町」を是非お楽しみください。

【購入先】 ふるさと納税／IBARAKI sense／茨城県大手スーパー 等

酒どころ石岡で生まれたクラフトウイスキー 木内酒造「日の丸ウイスキー」

石岡市は、筑波山系の豊富で良質な水に恵まれ、関東の灘とも称される酒どころです。古くから酒造りが盛んで、市内の酒造業の起源は、江戸時代にまでさかのぼるといわれています。伝統的な酒造りは、現在でも3軒（府中誉・廣瀬商店・藤田酒造店）の酒蔵に引き継がれています。

そんな酒どころ石岡市で、2020年にオープンしたのが、常陸野ネストビールでも有名な木内酒造の八郷蒸溜所です。筑波山を望む、風光明媚なこの土地で造るのは、地域に根差したこだわりの国産ウイスキー「日の丸ウイスキー」です。

茨城県産の大麦や小麦、米など、主原料を複数取り入れたウイスキーを、豊かな風土のもとで熟成させました。

こだわりが詰まった「日の丸ウイスキー ブレンデッドニューボーン2022」は、日本で唯一の品評会「東京ウイスキー&スピリッツコンペティション2022」において、金賞とジャパニーズニューメイクのカテゴリーウィナーのダブル受賞を果たしています。

2022年7月に石岡駅前の「かんばん横丁」にオープンした「日の丸ウイスキー石岡 Tasting Room」などで味わうことができます。

そして、2023年、八郷蒸溜所前には、日の丸ウイスキーなどの購入や軽食を楽しめる施設がオープン予定で、現在、準備が進められており、今後ますます盛り上がる場所になりそうです。





茨城プレデスティネーションキャンペーン実施中

来 年秋に実施される国内最大規模の観光キャンペーン「茨城デスティネーションキャンペーン」に先立ち、今年の12月31日まで茨城「プレ」デスティネーションキャンペーン（以下、茨城プレDC）を実施しています。

茨城プレDCでは「アウトドア」「食」「新たな旅のスタイル」の3つのテーマに沿った100を超えるスペシャルコンテンツを軸に、茨城の魅力をPRしていきます。魅力的な企画をたくさんご用意していますので、ぜひお出かけください！また、お近くの皆さんに、自分のおすすめの観光スポットや飲食店を紹介するなど、PRにご協力ください！



茨城プレDCの特別企画の中から、いくつかご紹介！

デジタルスタンプラリー 「いばらきの体験王は君だ！」開催中！



2022年10月1日(土)～12月31日(土)

※応募期間：2022年10月1日(土)～1月13日(金)

■参加方法

デジタルスタンプラリー「furari」をスマホ等にインストールして、右記チェックポイント（県内観光拠点50拠点を）を巡り、集めたスタンプ数に応じた賞品の抽選に応募できます！

■賞品



スタンプ5個で10組20名様



スタンプ10個で30名様



スタンプ15個で3名様



■チェックポイント一覧

日立市	道の駅日立 おさかなセンター	古河市	道の駅 まくらがの里こが	かすみがうら市	かすみがうら市交流センター (群の駅 コハン)
常陸太田市	竜神大吊橋	結城市	結城蔵美館	つくば みらい市	間宮林蔵記念館
高萩市	はぎビレッジ	下妻市	さん歩の駅 サン・SUNさぬま	美浦村	みほふれ愛プラザ
北茨城市	ガラス工房シリカ	常総市	水海道あすなろの里	阿見町	あみプレミアム・アウトレット
常陸大宮市	道の駅常陸大宮 ～かわプラザ～	筑西市	ザ・ヒロサフシティ	河内町	かわち夢楽
大子町	・大子おやき学校 ・国名勝 袋田の滝	板東市	観光交流センター「秀緑」	利根町	柳田國男記念公園
水戸市	・水戸城二の丸舟楳 ・偕楽園 ・茨城県庁 25階屋上展望台	桜川市	真壁伝承館	鹿嶋市	鹿島港魚釣園
笠間市	ムラサキパークかさま	八千代町	八千代グリーンビレッジ	潮来市	津軽河岸あと広場
ひたちなか市	国営ひたち海浜公園	五霞町	道の駅ごか	神栖市	息栖神社
那珂市	木内酒造 鴻巣本店	堺市	道の駅さかい	行方市	なめがたファーマーズ ヴィレッジ
小美玉市	空のえき そ・ら・ら	土浦市	小町の館	鉾田市	さんて旬菜館
茨城町	沼沼自然公園	石岡市	・丁子屋 (まち蔵 監) ・いばらきフラワーパーク& 花やさど山		
大洗町	・ひたちなかエネルギーロジック 大洗マリンタワー ・アクアワールド 茨城県大洗水族館	龍ヶ崎町	たつのご産直市場		
城里町	道の駅かつら	取手市	キリンビール取手工場		
東海村	原子力科学館	牛久市	牛久シャトー		
		つくば市	・つくばエキスポセンター ・筑波山神社		
		守谷市	もりやコレクション		
		稲敷市	こもれび森のイバライド		



女将カード & 酒蔵カードを集めよう！



いばらき女将の会加盟のホテルや旅館で「女将カード」を、指定の酒販売店にて「酒蔵カード」を配布します。



クイズ王伊沢拓司さんが 体験王国いばらきに！



桜川市生まれのクイズ王伊沢拓司(QuizKnock)さんが、体験王国いばらきを楽しむ動画が公開されました。ぜひご視聴ください！

茨城DCに関する情報は

茨城デスティネーションキャンペーン特設サイトをチェック！

茨城DC



笠間焼誕生 250 年



江戸時代安永年間から続く関東最古の産地として繁栄した笠間焼は今年、誕生 250 年を迎えます。笠間焼は、伝統的な技術と新たな創造力で今もなお多くの人に愛されています。作家、笠間焼協同組合、市などが一丸となり、将来のさらなる発展につながる取り組みを行っています。

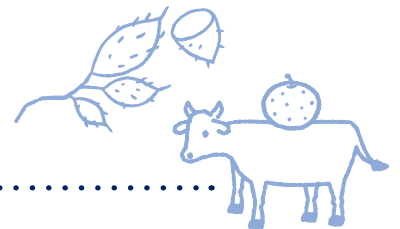
主な取り組みの一つとして、笠間焼協同組合と県立笠間陶芸大学校が連携し、市の特産である「稲田石」から微粉末を使った釉薬原料を開発し、「笠間長石」と名付けました。「笠間長石」を使用した笠間焼は、ほかの代表的な長石と比べ鉄分が豊富で、焼き方による特徴的な斑点や味わい深い色調が魅力です。

また、笠間焼を海外にも広めようと、英国を中心とした海外販路開拓事業や、EC サイト販売などオンラインを活用した販路開拓にも取り組んでいます。

毎年GW期間中にたくさんの来場者で賑わう県内最大の陶器イベントである「笠間の陶炎祭（ひまつり）」は、翌年、笠間焼誕生 250 年記念事業として開催を予定していますので、ぜひ会場へお越しください。



農産物の輸出額が 過去最高 9 億円を突破

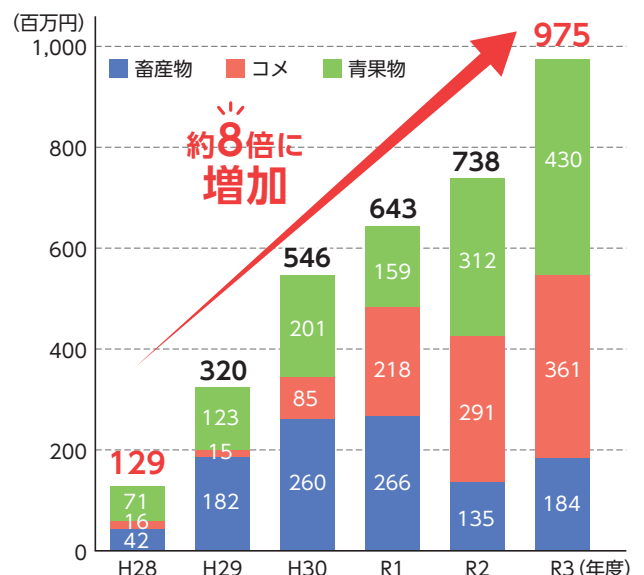


人口減少により、国内需要の縮小が懸念される中、本県農業が将来にわたり持続的に発展していくためには、今後も拡大が見込まれる世界の食市場に積極的に挑戦していく必要があります。

茨城県では、平成 28 年度から本格的に農産物の輸出促進に取り組んでおり、令和 3 年度の農産物（青果物・コメ・畜産物）の輸出実績額（推計）は、前年度と比べて約 32% 増の 9 億 7,527 万円となり、輸出量・額ともに過去最高を更新しました。

品目別では、タイ向けのかんしょ輸出が大幅に拡大し、青果物の輸出額が初めて 4 億円を突破しました。また、コメは、香港及びシンガポールを中心に堅調に輸出額が増加し、初めて 3 億円を突破したほか、畜産物も、常陸牛のシンガポール向け輸出が拡大するとともに、新たにカナダへの輸出が開始されるなど、輸出額が順調に増加しました。

今後とも、さらなる輸出拡大に向け、これまでに築いた販路の維持・定着に加えて、新たな市場の開拓に取り組んでまいります。



知っているけど、
もっと詳しく知りたい!

茨城 再発見

フリーアナウンサー

わたなべ 渡辺 美奈子

地元のラジオ局「LUCKY FM 茨城放送」でパーソナリティーを務めるフリーアナウンサーの渡辺美奈子さん。番組「MUSIC STATE」の木曜日を担当し、東京のスタジオから茨城ゆかりの話題を3時間たっぷり届けています。首都圏発「電波のアンテナショップ」を掲げる番組づくりへのこだわりを伺いました。

—番組の紹介をお願いします。

2016年に茨城放送東京支社にスタジオが設置されて、最初は15分コーナーでスタートしました。20年7月からは東京・千代田区二番町スタジオに移し、「MUSIC STATE」で毎週木曜日を担当し、午後1時から4時まで放送しています。東京発茨城向けを看板に、首都圏の茨城人をゲストに迎えたり、茨城ゆかりのイベントなどを取材したりします。「いばらぎ大使」によるリレートークも展開中です。いわば「電波のアンテナショップ」を目指しております。

—東京での取材の苦労はありましたか。

1991年に茨城放送に入社し、2011年に退社するまで、アナウンサーとして番組を持ちました。さらにスポーツ実況、取材などにも取り組む「何でも屋」として、県内を駆け回っておりました。しかし、東京での活動は初めて。人脈は全くなく、アポ取りから記者会見の参加まで、手探り状態でした。

た。街頭取材に警察の許可がいるのでも分からず、在京放送局の知人に聞いてしまいました。

結論は許可不要でした。放送が迫る中、ネタに困った揚げ句、大相撲の初場所を両国に行き、首にボードを提げ、好きな茨城出身の力士をファンに聞き回りました。大相撲ファンは本当に優しく、さらに茨城の力士がすごく愛されていることも実感しました。実はネタ集めには県人会も利用させてもらっており、18年からは県人会の会の司会も務めております。県人会の場で皆さんと名刺交換したり、名簿を基に情報収集したりします。番組出演のオフアールや県人会高校支部の取材もさせて頂きました。はいつくばるようにネタ集めに奔走する毎日です。一方で、リスナーさんからも最新の茨城情報をも



らい、東京からの発信だけでは足りない部分をフォローしてもらっています。放送中、すぐに反応を下さるのもラジオのいいところですね。

—どのような番組を目指していますか。

ギャップを意識しております。番組はラジオ放送だけでなく、ネット配信もしているため、県民だけでなく、全国にリスナーがいます。沖縄からメールが来ることもあります。首都圏の人にも「茨城はこんなにいるんだぞー」という思いで、発信しています。茨城で当たり前でも東京の人は知らないこと、茨城の人が知らない東京からの評価も伝える、その一心です。茨城情報では負けないことを心掛けています。プレスリリースもしっかり読み込み、茨城との関連を探ってみたり、

他が目をつけられない情報を深く掘り下げます。私はラジオで人生の喜びを教わったので、ラジオを媒体に誰かの支えとなり、ちょっとした幸せを共有できればと思います。

—埼玉県出身ですが、茨城県の印象は。

20年間、茨城に住みました。海のない埼玉県出身者からすると、魚がめっちゃめっちゃおいしい。海沿いの祭りがすごく盛ん。都会のきらさらした物質主義に浮ついてい

た私にとっては県北の自然に癒やされ、山歩きが趣味になりました。海に山、野菜など地に足つく生活を知りました。また、茨城放送時代に入社1年目から高校野球取材して以後、県内の高校の事情や戦績が気になり始めました。気付いたら、球場で高校野球ファンのおじさんから情報を教えてもらうようになり、ふと「ああ、茨城県民になれたかな」とじわり。



PROFILE

埼玉県出身。茨城放送20年間在籍後、フリーアナウンサーとして活動。現在同局東京Lucky Studioで「MUSIC STATE」木曜日担当。趣味は山歩き・スキー・ダイビング。

村田農園 代表

村田和寿

鉾田市のイチゴ農家「村田農園」。村田農園が作るイチゴは、首都圏の有名ホテルや高級果物店で扱われるなど、高い評価を集めています。代表の村田和寿さんにイチゴ作りについての取り組みや思いを伺いました。

「村田農園のイチゴは「村田さん家のいちご」と呼ばれ、一流の目利きやパティシエもほれ込むほどです。イチゴ作りの特徴を教えてください。

「村田さん家のいちご」という名前は、当園のイチゴを愛する皆さんがそう呼んでくれたため、そのままいただいて名付けました。

当園が大切にしているのは、「お客様目線のイチゴ作り」です。一般的な農家は市場向けに、傷みにくくフレムがないイチゴを作ります。一方当園は、その先にいるお客様の笑顔を想い、できるだけ完熟でおいしいイチゴをお届けできるように工夫を凝らしています。

これまでお客様が書いてくれた手紙は、大切にファイリングし、従業員も見られるように保管しています。お客様の声は励みになりますし、改善点な



どを気付かされることもあります。

「イチゴ作りに専念するようになったきっかけは。」

祖父の代からこの土地で農業をしています。もともとはメロンやスイカ、トマトなども作っており、私は18歳で就農しました。当初は主流だった「女峰」という品種のイチゴを作っていました。その後、果肉が固くて棚持ちの良い「とちおとめ」が出てきたことをきっかけに、本格的なイチゴ作りを始めました。32歳の時に父から農園を引き継ぎ、イチゴに専念することを決めました。

最初から上手くいったわけではありません。農園を継いで1年目のある日、「お客様からイチゴがおいしくない」という声が寄せられました。調べると、原因は土にありました。一部のハウスでは、自家製の堆肥を入れる機械が入らなかったため、代わりに購入した堆肥を使ったところ、イチゴの味が変わってしまったのです。自分の勉強不足を痛感

しました。以来、土作り、力を入れています。おいしいイチゴを作るために、どのような作業をしていますか。

当園の収穫期は12月から5月ですが、土を作ったり、苗を育てたりと1年中汗を流しています。鉾田市は関東ローム層の中でも細かい粒子の火山灰土壌で、水はけが良く、専門家からは「世界有数の農業に適した地」とも言われています。養豚も盛んなので、家畜ふんやもみ殻、ぬかなどを混ぜ合わせたオリジナル堆肥を作っています。毎年イチゴの出来具合と土の成分などを比較して、試行錯誤を繰り返しています。

また、イチゴが傷まないよう、出荷箱にも改良を加えています。

「どのようなメンバーで働いているのですか。」

当園は、家族やインドネシアからの実習生など15人が一丸となってイチゴ作りに励んでいます。1日3回、朝と午前午後のお茶の時間にミーティングを開き、作業内容やその目的を共有し

ています。

私が、茨城弁で指導するので、外国人の従業員は「だっぺ」などを覚えたそうです。彼らとは同じ敷地内で暮らしています。帰国後も幸せに暮らしていけるような人間教育も行っています。

「村田さん家のいちご」はどこで購入できますか。

12月中旬から5月中旬ごろまで、園内に直売所兼カフェ「畑のラウンジハティ・ハティ」をオープンします。イチゴだけでなく、自家製のシエイフやスムージーなども味わえます。ぜひ周辺観光も楽しみながら、気軽にお立ち寄りください。

オンラインストアでも販売しますの

で、ホームページをご覧ください。

「村田さんがこれから挑戦したいことはありますか。」

村田農園の理念の一つに「かっこいい農業」を掲げています。農業を「ぎつい、汚い、かっこ悪い」という3Kのイメージから、「感動、稼げる、かっこいい」の「新3K」へ変えたいです。

また、鉾田市にはイチゴ以外にもおいしくて品質の高い食材が豊富にあります。「美食材の街」としてアピールし、生産者や料理人が集う場所にした

いと考えています。



村田代表 (写真右)

PROFILE

村田農園
〒311-1414 鉾田市子生 796-14
Tel. 0291-37-2345

●HP
<https://www.murataichigo.com>



●オンラインストア
<https://www.murataichigo.com/online-store/>



いばらきの 先人たち

自由と平等を訴えた女流作家

すみいすえ 住井すゑ

牛久市



写真提供：
牛久市教育委員会

住井すゑは、奈良県の農家に生まれました。大きな屋敷構えの裕福な旧家であり、副業として大和木綿の製造業も行っていました。すゑが小学校に通っていたころ、先生はすゑを「さん」付けで呼ぶのに、他の子に対しては呼び捨てでした。

（なぜ私は「さん」付けなの？学校は勉強するところなのに、家が裕福かどうかで呼び方が変わるなんて。どうしてそんなことで差別があるのだろう。）

すゑは、この時初めて、世の中にある差別ということを実感しました。

六人兄弟の末っ子だったすゑは、大阪へ見習い奉公に出ている一番下の兄から子ども雑誌を送ってもらいました。すゑの文学への情熱はこのころから生まれました。

大正八年（一九一九）、すゑが十七歳の時、東京の出版社の女性記者に採用され、上京しました。しかし、女性社員への待遇の差別を感じ、わずか一年で退社しました。

（どうして世の中には差別が存在するのだろう。人は、もともと皆平等なはずなのに。）

以後、童話を執筆して生計を立てていたすゑは、世の中の差別と闘いながらも、決して文学に対する情熱は失いませんでした。

大正十年（一九二一）、すゑは、農民文学者であった犬田卯と結婚しました。当時、犬田は、『農民』という雑誌を発行していました。文学運動を通して農民解放を目指しましたが、度重なる発行禁止、罰金処分

を受けてしまいます。

すゑは、童話や少女小説を書き、その原稿料で生活を支えていましたが、生活はたいへん苦しいものでした。昭和十年（一九三五）、二人は四人の子どもとともに、犬田の郷里である牛久村城中（牛久市城中町）に移りました。そして、農業をしながら、文筆活動を続け、誰とでも分けへだてなく付き合いました。ところが、世の中にはまだ差別があったのです。

（家が裕福か貧しいかといったことや、男か女かといったことなどで、なぜ差別があるのだろう。私の子どものころにも差別があった。よし、私には文学がある。このことを書いて世の中の人々に訴えよう。）

差別と闘おうとするすゑの気持ち、は、次第に大きくなっていきました。昭和三十三年（一九五八）、五十六歳のすゑは、長年の思いをこめて、『橋のない川』を書き始めました。そし

て、同三十六年（一九六一）、第一部を出版しました。すゑは、この作品で、奈良盆地に生まれ育った少年の苦難と成長を描きました。第六部まで書き続けました。この時、すでに原稿用紙五千枚にも及んでいたといわれています。すゑが七十一歳の時でした。

さらに平成四年（一九九二）、九十歳の時、第七部を出版しました。この作品は、シリーズ全体で八三〇万部のロングセラーとなり、映画にもなりました。

（これほど書いても差別の問題は終わっていない。この先、いったい私に何ができるだろう。）

すゑは、「人は本来、自由で平等である。」と訴え続けました。そして、『橋のない川』の第八部の出版を目指し、執念を燃やしていましたが、九十五歳で亡くなりました。



住井すゑの書斎机上
写真提供：牛久市教育委員会

【略歴】 明治35年（1902）—平成9年（1997）。奈良県生まれ。小学校卒業後、田原本技芸女学校に入学するが中退。その後、小学校教員資格検定試験に合格。この頃から短文や俳句を雑誌に投稿し、しばしば掲載される。17歳で出版社に採用されるが、女性社員への給与差別に抗議して退社。やがて、農民解放を目指した農民文学者・犬田卯と結婚。昭和10年（1935）、夫の郷里である稲敷郡牛久村（牛久市）に転居する。夫の死後、56歳で『橋のない川』の執筆を開始。昭和34年（1959）から雑誌に掲載され、同36年（1961）に第1部を出版。奈良盆地に生まれ育った少年の苦難と成長を描く。いったん完結するが、平成4年（1992）に第7部を出版する。自由と平等を求めて差別と闘う物語は、ロングセラーとなり、映画化される。

いばらきフラワーパーク

「見る」だけでなく、五感で感じる体験を通して、地域の魅力を再発見できるフラワーパーク



いばらきフラワーパーク

- ④ 石岡市下青柳 200 番地
- ☎ 0299-42-4111
- 🕒 9:00-17:00
(10/15~12/30は夜間営業のため20:30まで営業)
- 📅 火曜日
(祝日の場合は翌平日)、12/31-1/3

今回ご紹介するのは、2021年4月にリニューアルオープンした「いばらきフラワーパーク」です。1985年に開園した本施設は、昨年春「見るから感じる」をコンセプトに、「見る」だけでなく、「香る」「味わう」「触れる」「聴く」の五感で体感できるような特別な場所[※]に生まれ変わりました。園内では、約900品種のバラをはじめ、四季折々の

花々を鑑賞できるほか、自然を活かしたアクティビティ、茨城県・八郷の新鮮な食材を味わえるお食事などをお楽しみいただけます。

県産の筑波石を積み上げて作られた迫力満点のエントランスを潜れば、バラのトンネルがお出迎え。トンネルの入口には、リニューアルに合わせ、地元八郷という地名にちなんで命名されたパークオリジナル品種、「ユイット・カーパニー」が植えられています。イメージカラーにもなっている、鮮やかなピンク色のバラは、園内の「ローズファームマーケット」でご購入いただけます。

園の奥に進むと、一面ガラス張りの「レストラン ローズファームハウス」が現れます。レストランでは、茨城・八郷産の新鮮な食材を活かしたメ



ニューを展開し、季節ごとに応じた美味しい食事が楽しめるほか、ペットと過ごせる個室やペット向けメニューも準備しており、大切なペットと一緒に過ごすこともできます。

野菜を花東に見立てたブーケサラダとメインがセットになったプレート「東」はレストランの人気メニューで、園内の花に囲まれたベンチやパラ

ソルでのランチもおすすめ。

また、「100の体感」と称し、年間を通して園内の花や自然を使ったアクティビティを多数開催。園内での花摘み体験やドライフラワーを使用したリース作り、アロマミスト作りやツリークライミングなど様々なアクティビティで園内の自然を体験できます。メニューは時期によって変化するので、訪れる度に、新鮮で新たな魅力を発見できます。

隣接する宿泊施設「花やさと山」のサークルロッジに泊まれば、パノラマの里山風景に加え、夜になれば満点の星空を眺めることができ、更には、開園前のフラワーパークをお散歩できる特権付き。

装い新たに生まれ変わった「いばらきフラワーパーク」で、「五感」を刺激する豊かなひとときをお過ごしください。



県では、本県農産物のブランド確立に向けて、県を代表する銘柄牛の「常陸牛」や銘柄豚肉の「常陸の輝き」、県オリジナル品種の梨「恵水」とメロン「イバラキング」、県産の「栗」の5品目を広く知っていただくため、おいしさや品質の良さをPRするとともに、話題となる取り組みを実施しています。

いばらき農産物 ブランド確立へ



今回の農産物



有名シェフをも魅了する「常陸牛」「常陸の輝き」

【お問い合わせ】 県販売流通課 TEL.029-301-3966

常陸牛

本県が誇る「常陸牛」は、指定生産者の磨かれた飼育管理技術と厳選された飼料により、30カ月にわたり育てられた黒毛和牛の中から、食肉取引規格A5・A4、B5・B4等級に格付けされた最高級のブランド牛肉です。都内の百貨店や有名ホテルで取り扱われ、アメリカなどの海外でも高い評価を得る常陸牛。県では、高級店等での取り扱いを推進し、更なるブランド力の向上に取り組んでいます。



人形町今半 (令和3年)

常陸牛や県産食材を使用した「ひたちの恵み」を限定販売

常陸の輝き

「常陸の輝き」は、平成30年12月に販売を開始した新たなブランド豚肉です。茨城県が開発したデュロック種の系統豚「ローズD-1」を父豚として生産する三元豚であり、筋肉内の脂肪含量（脂肪交雑）が一般の豚肉に比べて高い特徴があります。

「常陸の輝き」は、父豚「ローズD-1」の能力を十分に引き出し、さらに肉質を向上させるために「専用飼料」を給与することに加え、肉の美味しさを重視した「独自の枝肉規格」を設定することで、やわらかくて旨みがあり、香りの良い高品質な肉質を実現しました。茨城県から全国へ、自信をもってお届けできる至高のブランド豚肉です。



とんかつ 西麻布豚組 (令和3年)

常陸の輝きのローズの芯のみを使用した「究極のとんかつ定食」を限定販売

いばらき
茨城をたべよう



茨城をたべよう「いばらき食と農のポータルサイト」では、茨城県の農林水産物に関する情報をご紹介します。毎週開催のプレゼントキャンペーンをはじめ、旬の品目や生産者、オリジナル品種の特集記事などを掲載しておりますので、ぜひご覧ください。





豊かな自然に育まれた食材の宝庫・茨城県。
そんな茨城の食材を使ったお店や、茨城出身の方が営むお店をご紹介します。

第10回 JULIA



OMAKASEコース、
県産食材をふんだんに使った
ジャンルにとらわれない料理

神 宮外苑前から徒歩約5分。「外苑西通り」から1本道を入った所に「JULIA」があります。カウンター9席のこじんまりとした店構えが特徴です。

オーナーでソムリエの本橋健一郎さんは守谷市出身。妻のnaoさんがシェフを務め、メニューを考案します。

JULIAはジャンルにとらわれない「イノベーティブ料理」を掲げます。食材はほとんどが茨城県産です。本橋さんは「魚に肉、野菜、コメ、水、お酒、ワイン、器…。茨城を見渡したら、何でもあった」と振り返ります。茨城県産にこだわっていくと、魅力に気付いたようです。首都圏に近い本県の地の利を生かし、地元の朝採れ野菜が、その日にレストランに届きます。たくさんの人が行き交う東京で茨城の味を広めたいと意気込んでいます。

メニューは1人2万5千円の「OMAKASEコース」だけ。各料理に合う国産ワインをペアリングします。8～12品で構成するコース内容は月替わり。本橋さんは「毎月帰って来てくださるレストランを目指しています」と話します。naoさんが生産者とやりとりしながら、旬を生かしたメニューを編み出します。naoさんは「目指すのはお母さんの料理。お客様はもちろん、生産者や誰かを思いながら、愛のある料理を心掛けています」と語ります。生産者には完成した料理の写真を送るなど、コミュニケーションを欠かしません。本橋さんも「映画のように毎月ストーリーが変わるレストランにし、季節ごとや結婚記念日などに来てくれるハートフルなお店にしたい」と目標を掲げます。気取らない夫婦がつくるアットホームな雰囲気を感じてください。



JULIA

東京都渋谷区神宮前3-1-25-1F
◎ 19:00～ ㊟火曜日 ㊟カウンター席9席
[WEBサイト] <https://juliaebisu.wixsite.com/julia>

ご予約は
WEBへ



茨城県人会連合会 入会のお誘い

茨城県人会連合会では、随時、会員の募集を行っております。

会員の資格は、茨城県に関連する法人、団体、個人で、東京都及びその近郊に所在、在住していること、そして「郷土の名誉を尊重し、郷土愛精神を基調として会員相互の親睦をはかる」といった本会の趣旨に賛同いただける方となります。

年会費は、法人会員が「一口5万円」以上で、個人会員は「一人5千円（ただし、学生及び20歳以下の会員は無料）」です。連合会では、総会・懇談会や新年賀詞交歓会、県産品の配布、郷土の情報提供及び会報の発行などの事業を行っています。また、既に入会されている会員の方で、茨城県の出身者や関係企業などをご存知の方は、是非お誘いくださいますようお願いいたします。

入会ご希望の方は、下記「入会申込書」にご記入の上、事務局までお送りください。（入会申込書は事務局にもございます。）

寄稿のお願い

会員の皆様からの投稿をお待ちしております。

県人会の活動状況や近況、身近な茨城に関わる事柄、または郷土に対する思いなど、どのようなものでも結構です。事務局まで是非お寄せください。

※記載いただいた個人情報、会員データベース作成、各種ご案内の発送、会員に配布する会員名簿の作成など、当会の事業の実施のみに使用させていただきます。

わが茨城
ROSE

令和4年11月18日発行（第118号）

発行人 鈴木 正誠

発行所 茨城県人会連合会

東京都千代田区平河町2-6-3

（都道府県会館9階茨城県営業

戦略部東京渉外局行政課内）

電話 03-5212-9088

FAX 03-5212-9089

【個人会員入会申込書】

住所：〒

電話

フリガナ

氏名：

職業：

社名

役職

勤務先：〒

所在地

電話

生年月日：

出身地：

趣味：

私は、茨城県人会連合会個人会員として入会したいので、申し込みます。

令和 年 月 日

茨城県人会連合会会長殿

申込者氏名

紹介者氏名

茨城県人会連合会公式SNSについて

茨城県人会連合会では令和3年6月よりSNS公式アカウントを開設し、当連合会の活動報告、茨城県の実施するイベントに関する情報、会員の皆さまに向けて発信したい情報など幅広く情報発信を行っております。

地元である茨城県に関する様々な情報を会員の皆さまにお届けするため、また、より多くの方に茨城県人会連合会を知ってもらうため、今後とも情報発信を行って参りますので、是非ともご利用ください。

○Twitter

アカウント名 茨城県人会連合会@Kenjin_Ibaraki

URL https://twitter.com/Kenjin_Ibaraki

○Facebookページ

ページ名 茨城県人会連合会

URL <https://www.facebook.com/Kenjin.Ibaraki>



Twitter

Facebook

地域のために 未来のために

筑波銀行は、より充実した金融サービスのために。
そして、もっと豊かな日々の暮らしのために。
地域エリアの皆様とともに、
未来に向かって力強く前進いたします。

 筑波銀行
Tsukuba Bank


SDGs推進プロジェクト
あゆみ
筑波銀行は
SDGs推進プロジェクト
「あゆみ」に
取り組んでいます。

さらば「いばらぎ」
濁点宇宙発射計画、
完了。



茨城から、さらば「いばらぎ」

 茨城新聞社

その全容をムービーで公開中→
YouTube 検索



本社	茨城県水戸市笠原町 978-25	茨城県開発公社ビル	TEL 029(239)3001(代)
東京支社	東京都中央区八丁堀 3-25-10	JR 八丁堀ビル 2F	TEL 03(3552)0505
大阪支社	大阪市北区曽根崎新地 2-1-15	長滝ビル 3F-32	TEL 06(6344)4605

わが茨城 R O S E

令和四年（二〇二二年）十一月十八日発行
発行者 鈴木正誠

発行所

茨城県人会連合会 東京都千代田区平河町二一六一三
都道府県会館九階茨城県営業戦略部
東京渉外局行政課内

F A X

〇三（五二二二）九〇八八
〇三（五二二二）九〇八九



「地域とともにあゆむ 価値創造グループ」へ

地域とともにあゆみ、新しい価値を協創し、
持続可能な地域社会の実現に貢献してまいります。

 常陽銀行

 MEBUKI
めぶきフィナンシャルグループ